

7 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路
 - (3) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (4) 「地域包括支援センター」の認知経路
 - (5) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (6) 協力意向がある活動内容
 - (7) 「成年後見制度」の認知状況
-

7. 「孤立ゼロプロジェクト」など

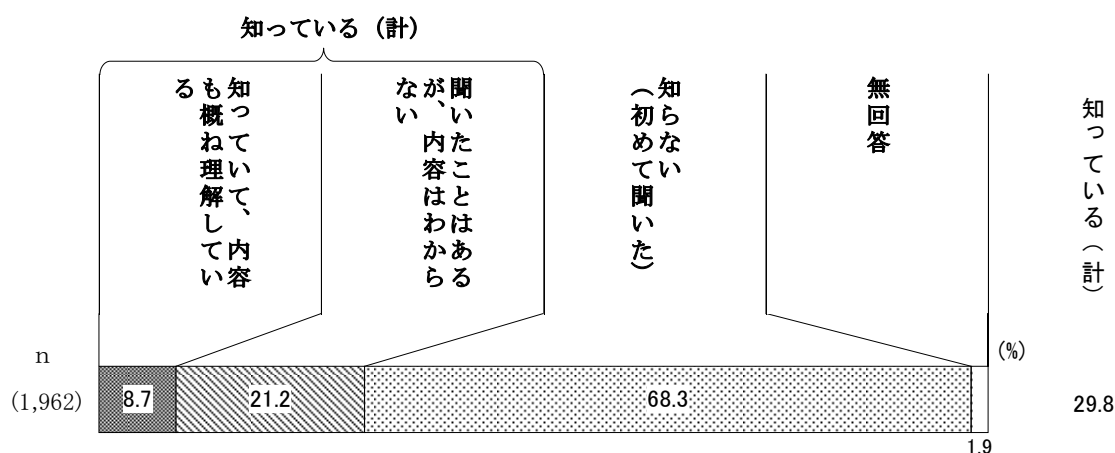
(1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■ 【知っている】が3割、「知らない（初めて聞いた）」は7割

問27 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか。
（○は1つだけ）

※ 「孤立ゼロプロジェクト」とは地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図7-1-1 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



「孤立ゼロプロジェクト」について、「知っていて、内容も概ね理解している」が8.7%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の21.2%を合わせた【知っている】は29.8%となっている。

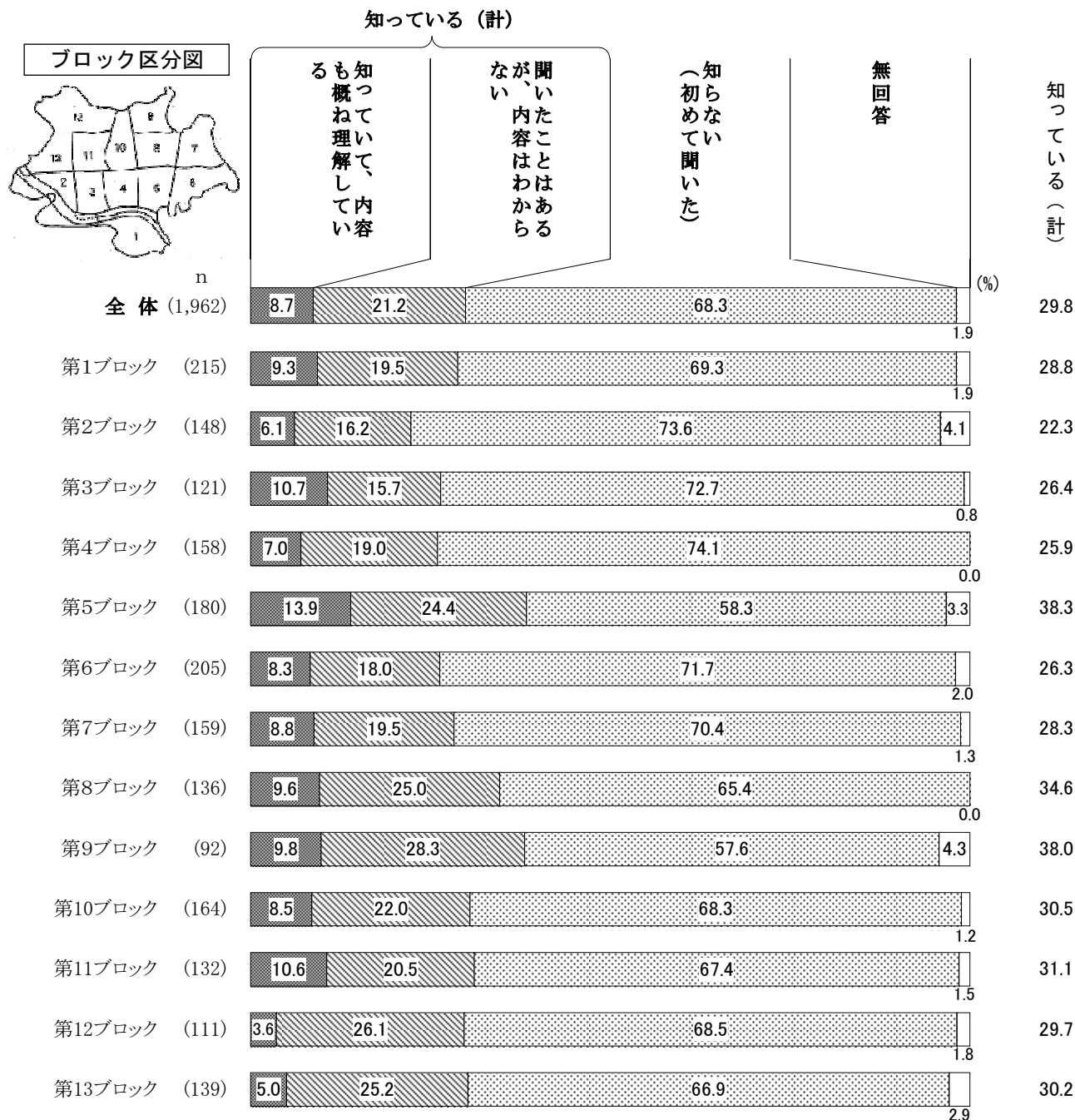
一方、「知らない（初めて聞いた）」は68.3%を占めている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、【知っている】は、第5ブロック、第9ブロックで、それぞれ38.3%、38.0%と他のブロックより高くなっている。

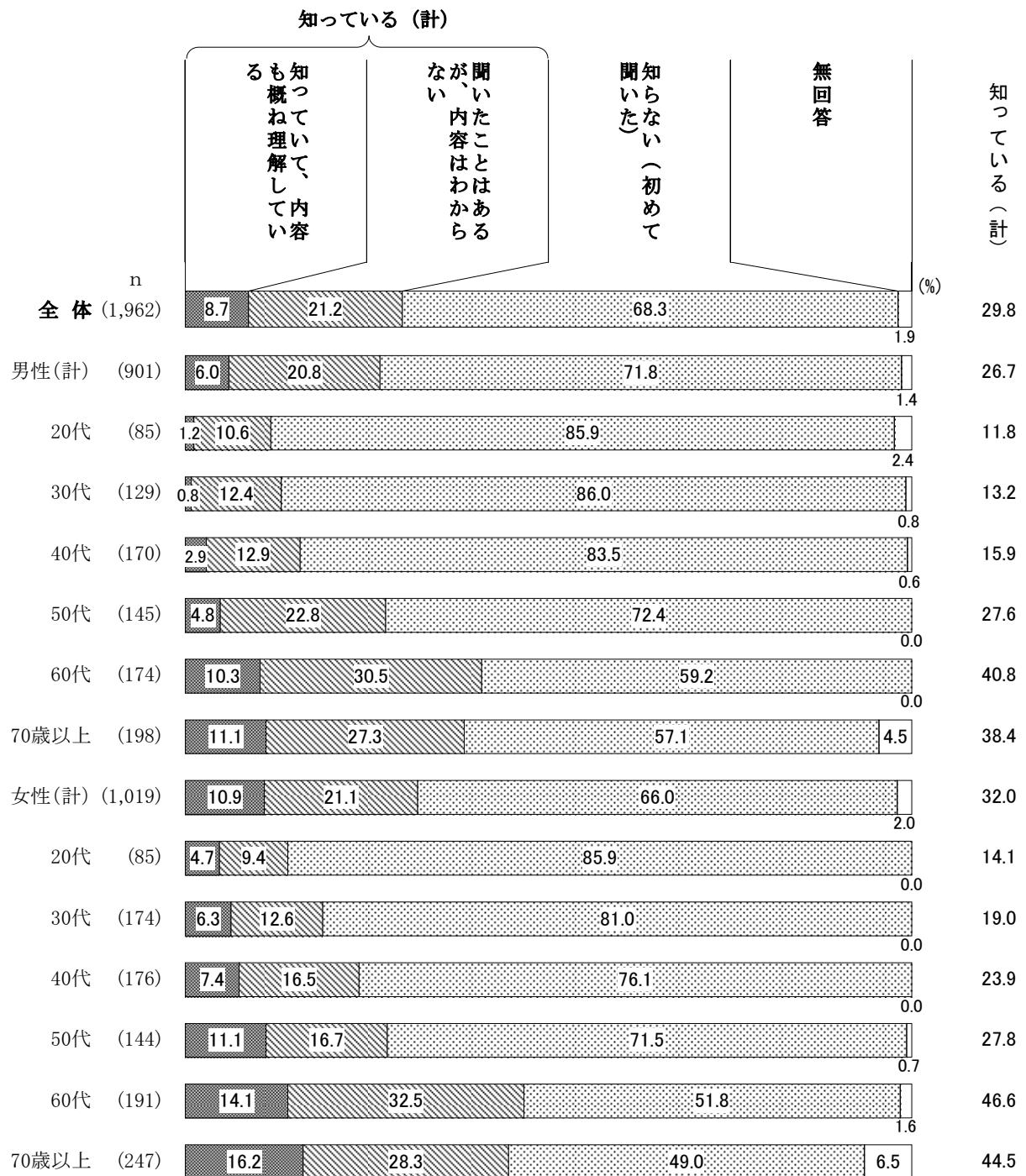
地域ブロック別差は、第5ブロック（38.3%）と第2ブロック（22.3%）で最大16.0ポイントであった。

図7-1-2 地域ブロック別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別でみると、【知っている】は、男性26.7%、女性32.0%と男性より女性で高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、【知っている】は、加齢とともに増加傾向で、60代で40.8%、
 70歳以上で38.4%となっている。
 女性でも、ほぼ同様の増加傾向を示し、60代で46.6%、70歳以上で44.5%となっている。
 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、年代によって大きな差がある。

図7-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

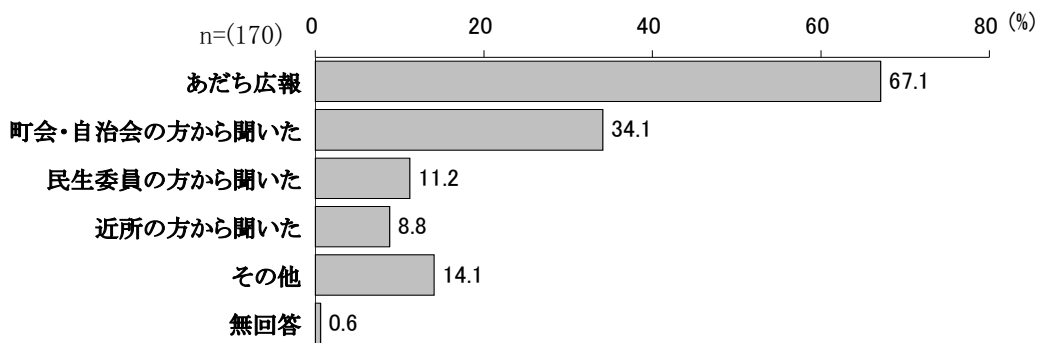


(2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

■ 「あだち広報」が6割台半ばで、特に多くなっている

問27で「1. 知っていて、内容も概ね理解している」とお答えの方に
 問27-1 プロジェクトのことをどのように知りましたか。(○はあてはまるものすべて)

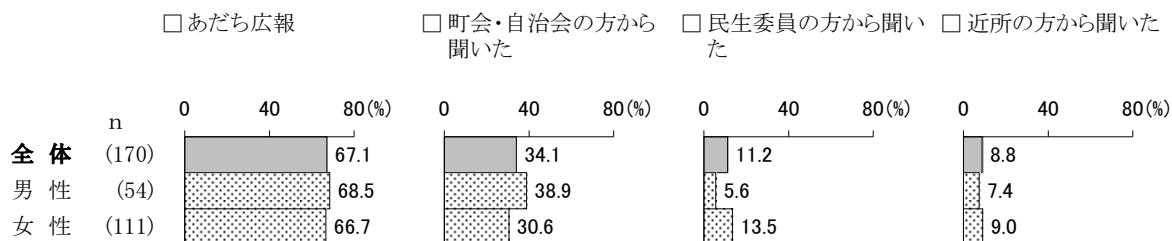
図7-2-1 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路



「知っていて、内容も概ね理解している」人に、認知経路を聞いたところ、「あだち広報」が67.1%で最も高く、次いで「町会・自治会の方から聞いた」(34.1%)となっている。

性別で見ると、「あだち広報」は男性68.5%、女性66.7%となっている。また、「町会・自治会の方から聞いた」は、男性38.9%、女性30.6%と男性が女性より8.3ポイント高くなっている。

図7-2-2 性別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路



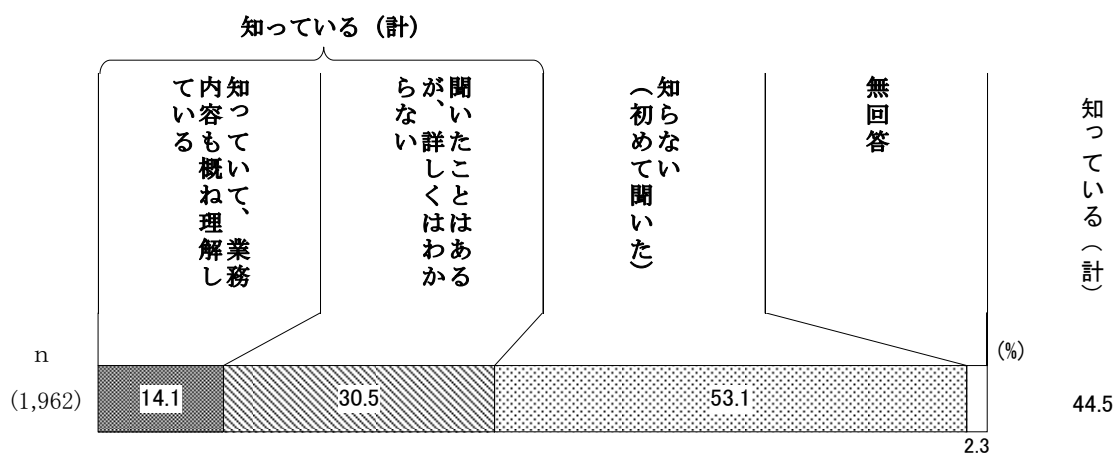
(3) 「地域包括支援センター」の認知状況

■ 【知っている】は4割台半ば

問28 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動を中心となって支援している「地域包括支援センター（※）」を知っていますか。（○は1つだけ）

※ 「地域包括支援センター」とは足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の様々なご相談に応じて、公的な保健福祉サービスの紹介や申請手続きのお手伝いをします。

図7-3-1 「地域包括支援センター」の認知状況

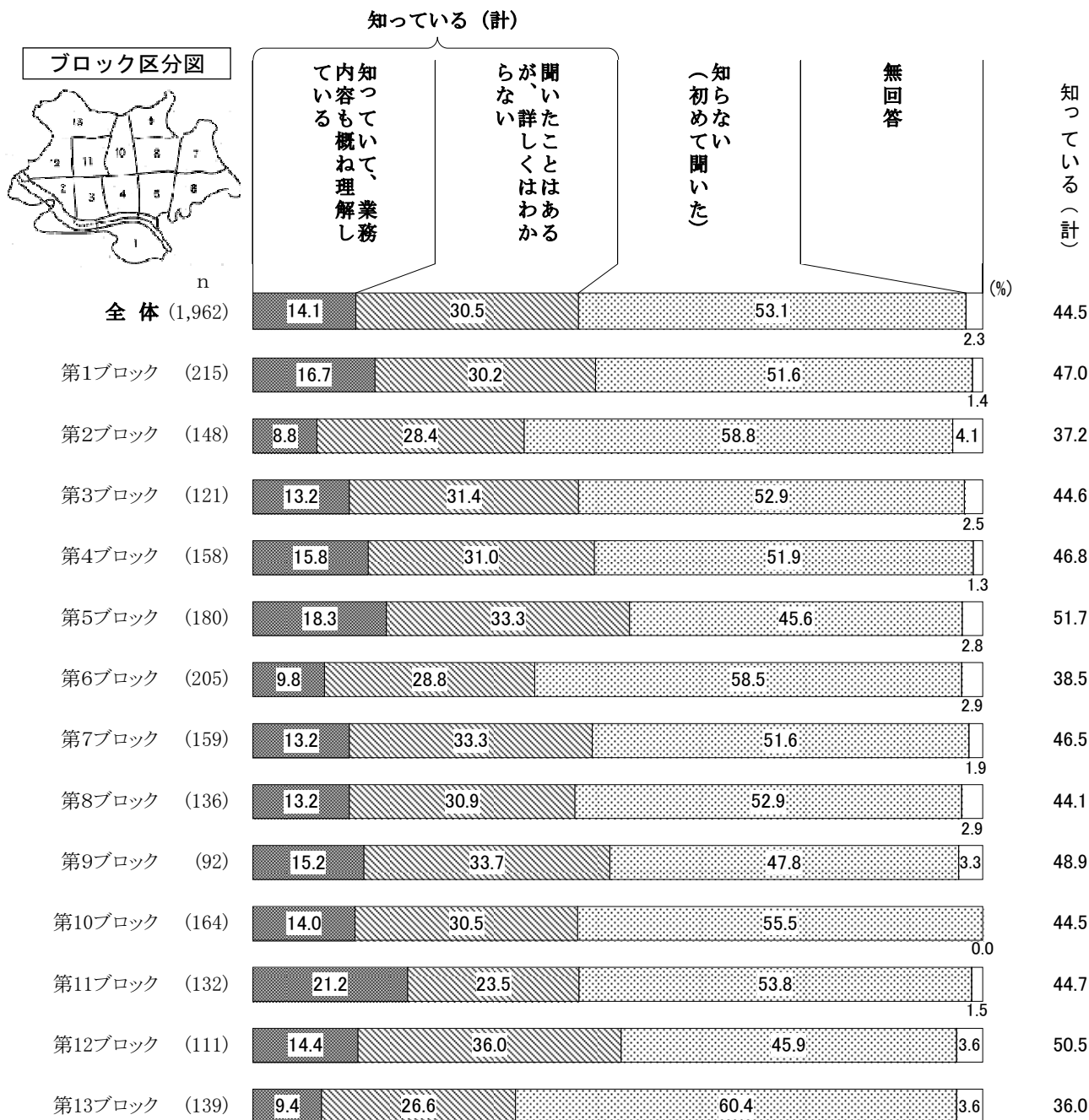


「地域包括支援センター」について、「知っていて、業務内容も概ね理解している」が14.1%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」の30.5%を合わせると【知っている】は44.5%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は53.1%を占めている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第5ブロック、第12ブロックでは、【知っている】が、いずれも5割を超え、他のブロックよりやや高くなっている。

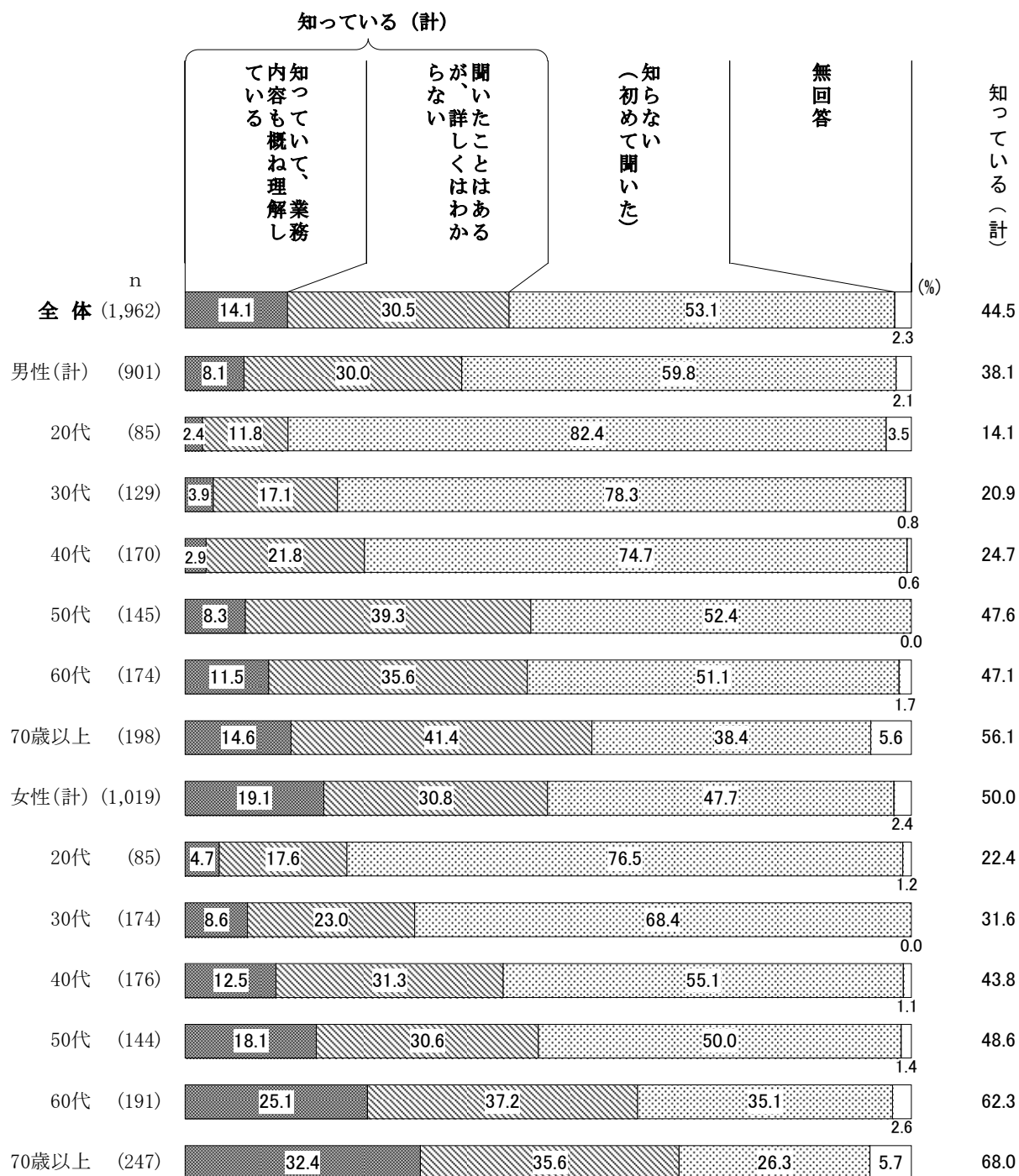
図7-3-2 地域ブロック別／「地域包括支援センター」の認知状況



性別でみると、【知っている】は男性38.1%、女性50.0%と男性より女性で高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、加齢とともに【知っている】が増加傾向であり、70歳以上では56.1%となっている。女性でも、加齢とともに増加し、70歳以上では68.0%と7割近くに達し最も高くなっている。

図7-3-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況



(4) 「地域包括支援センター」の認知経路

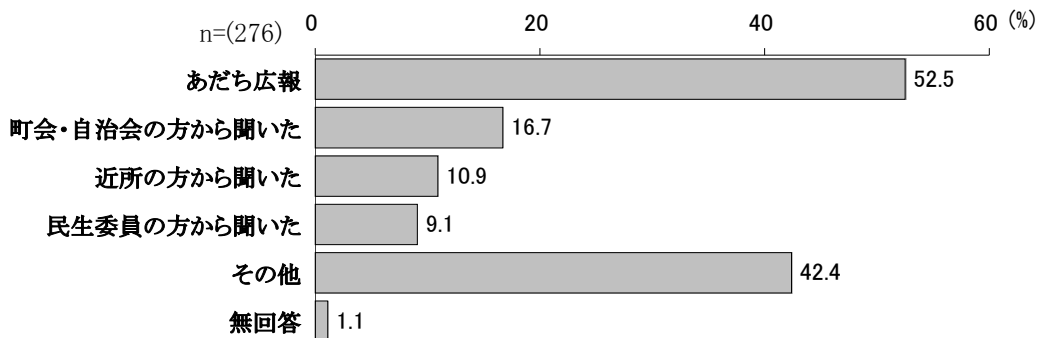
■ 「あだち広報」が半数を超える

問28で「1. 知っていて、業務内容も概ね理解している」とお答えの方に

問28-1 「地域包括支援センター」のことをどのように知りましたか。

(○はあてはまるものすべて)

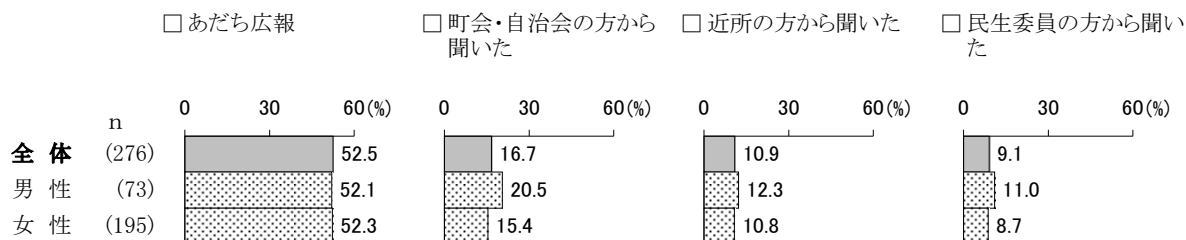
図7-4-1 「地域包括支援センター」の認知経路



「知っていて、業務内容も概ね理解している」という人に、認知経路を聞いたところ、「あだち広報」が52.5%で最も高く、次いで「町会・自治会の方から聞いた」(16.7%)となっている。

性別でみると、「あだち広報」は男性52.1%、女性52.3%となっている。また、「町会・自治会の方から聞いた」は、男性20.5%、女性15.4%と男性が女性より高くなっている。

図7-4-2 性別／「地域包括支援センター」の認知経路

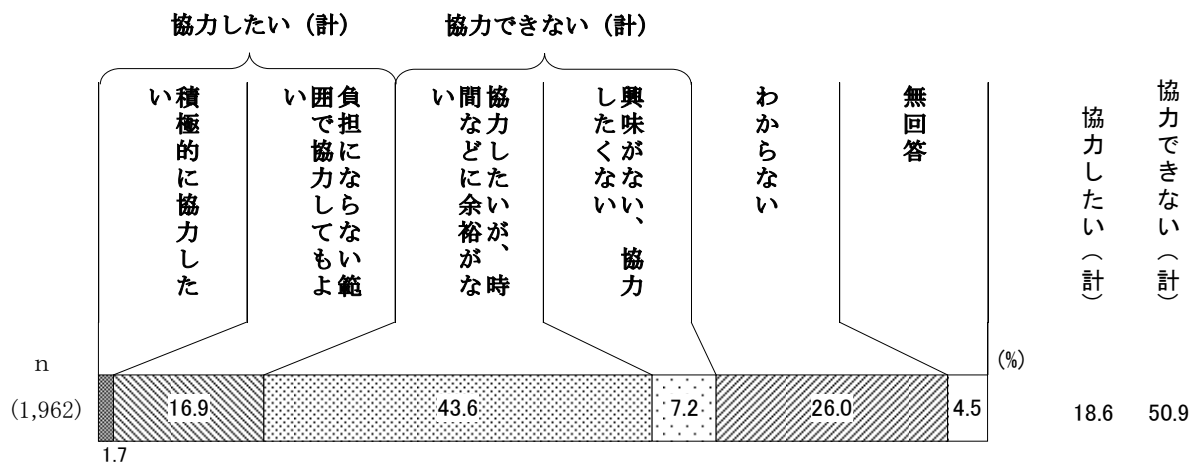


(5) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■ 【協力したい】の2割弱に対し、【協力できない】は5割

問29 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか。(○は1つだけ)

図7-5-1 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



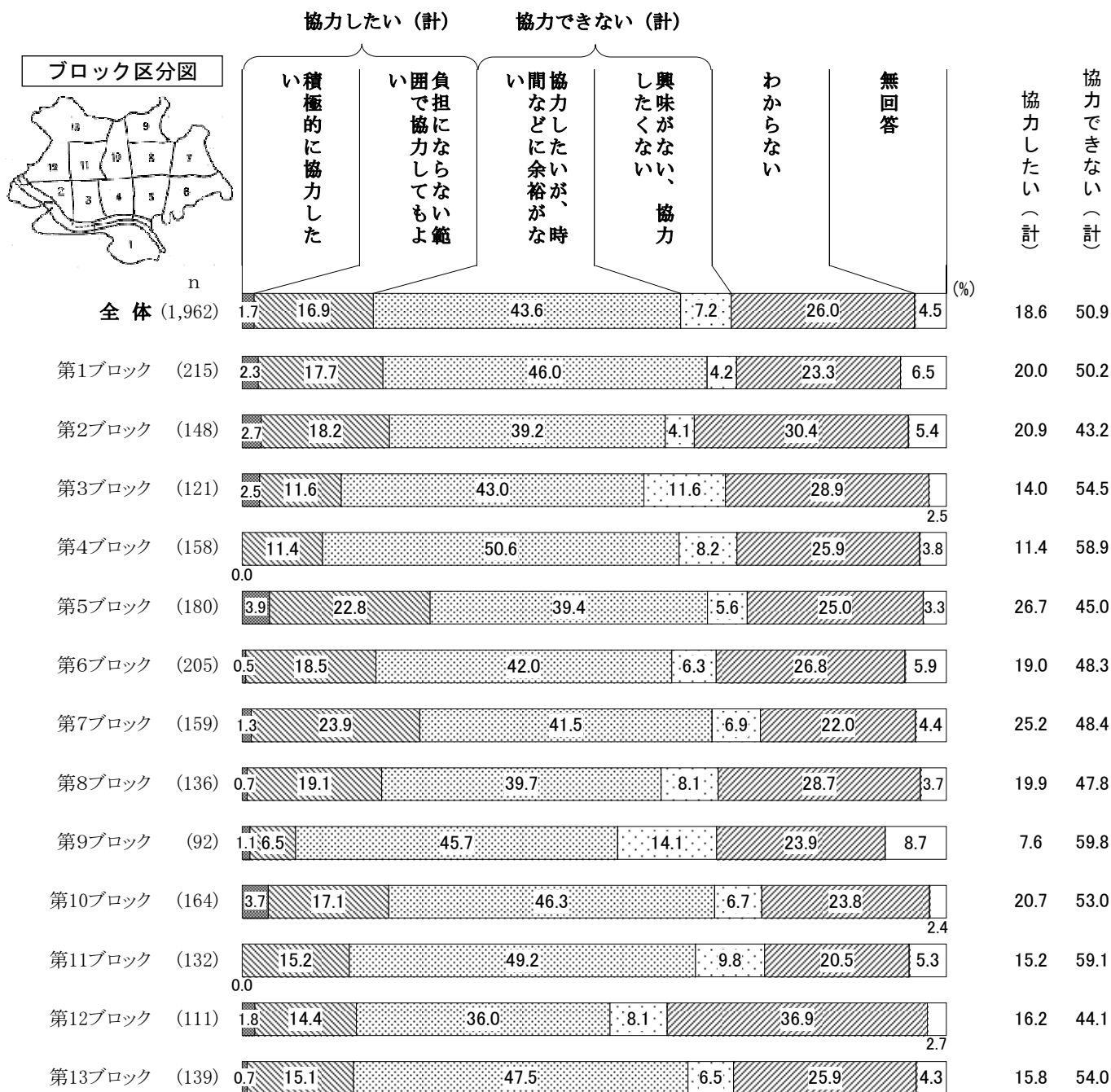
高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は1.7%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」の16.9%を合わせた【協力したい】は18.6%である。

一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は43.6%、「興味がない、協力したくない」は7.2%となっている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第5ブロック、第7ブロックでは、【協力したい】が、それぞれ26.7%、25.2%と他のブロックよりやや高くなっている。第9ブロックは【協力したい】が7.6%と最も低くなっている。

図7-5-2 地域ブロック別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

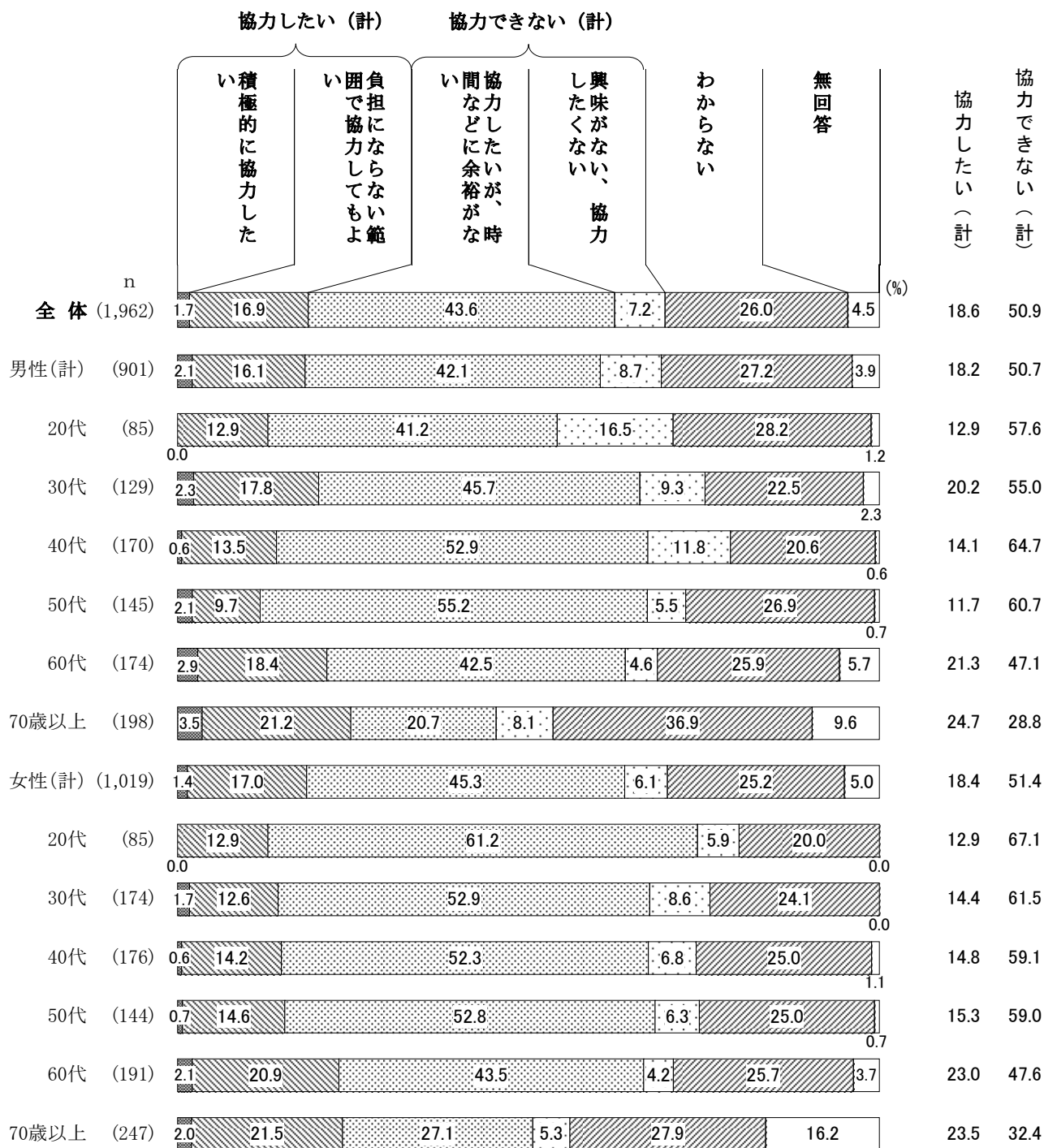


性別でみると、【協力したい】は男性18.2%、女性18.4%となっている。

性・年代別でみると、男性では、30代、60代、70歳以上で【協力したい】が2割を超え、とくに70歳以上では24.7%となっている。50代で【協力したい】が11.7%と全年代で最も低かった。

女性では、60代、70歳以上で【協力したい】が、それぞれ23.0%、23.5%と他の年代より高くなっている。

図7-5-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

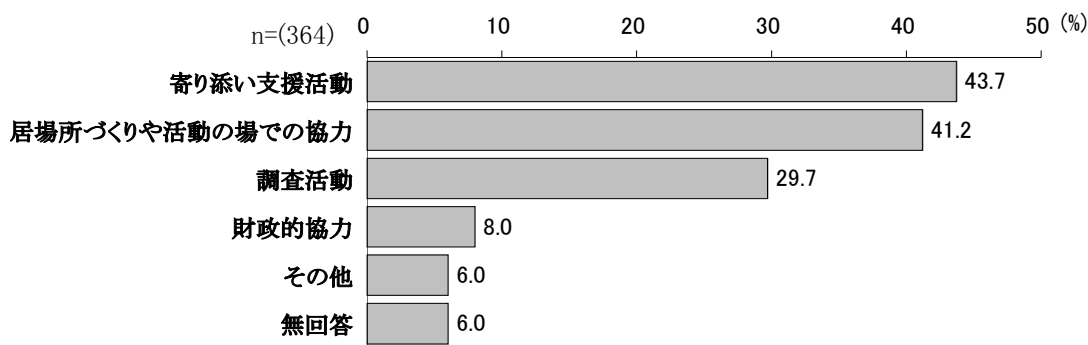


(6) 協力意向がある活動内容

■ 「寄り添い支援活動」「居場所づくりや活動の場での協力」が4割を超える

問29で「1. 積極的に協力～」または「2. 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
 問29-1 どのような活動に協力したいですか。(○はあてはまるものすべて)

図7-6-1 協力意向がある活動内容



寄り添い支援活動 (主に高齢者のみの世帯を定期的に訪問して体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動のこと)

居場所づくりや活動の場での協力 (住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなど)

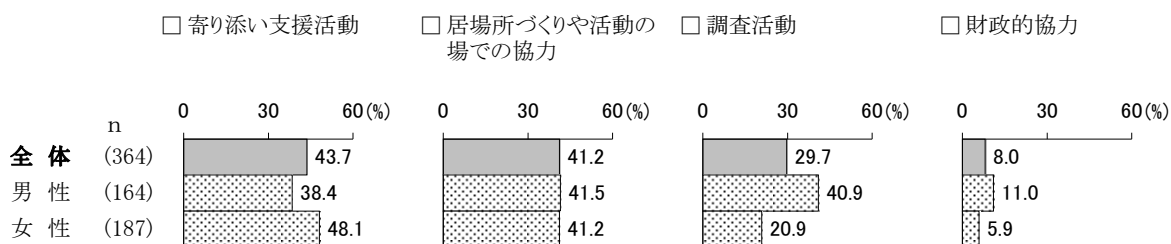
調査活動 (主に高齢者のみの世帯を訪問し「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査すること)

財政的協力 (活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助)

【協力したい】という人に、その活動内容を聞くと、「寄り添い支援活動」(43.7%)と「居場所づくりや活動の場での協力」(41.2%)が、いずれも4割を超えて、特に高くなっている。
 また、「調査活動」も29.7%と高くなっている。

性別でみると、「寄り添い支援活動」は、男性38.4%、女性48.1%と女性の方が9.7ポイント高くなっている。また、「調査活動」は男性40.9%、女性20.9%と男性の方が20.0ポイント高くなっている。

図7-6-2 性別／協力意向がある活動内容

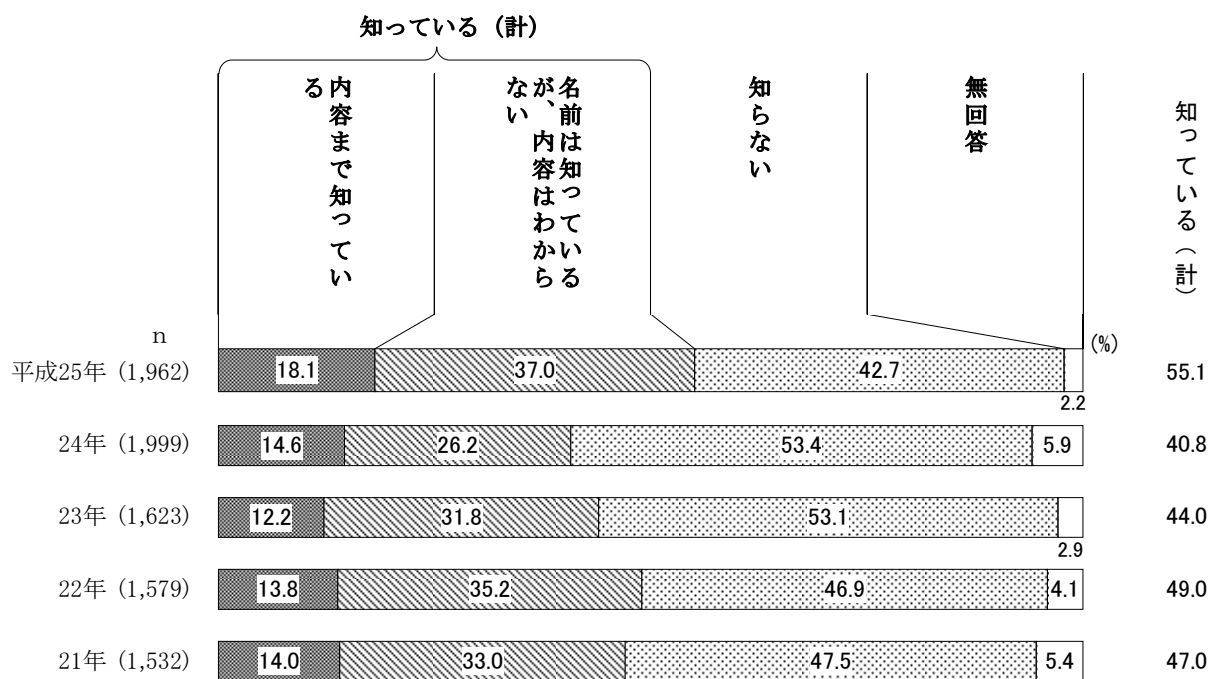


(7) 「成年後見制度」の認知状況

■ 【知っている】は、初めて5割を超えた

問30 あなたは、高齢者等の権利を守るしくみとして、「成年後見制度」を知っていますか。
(○は1つだけ)

図7-7-1 経年比較／「成年後見制度」の認知状況



成年後見制度について、「内容まで知っている」は18.1%で、これに「名前は知っているが、内容はわからない」の37.0%を合わせた【知っている】は55.1%と過半数を占めている。一方、「知らない」は42.7%となっている。

経年で比較すると、【知っている】は、前回の40.8%から、今回55.1%へと、14.3ポイント上昇している。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、【知っている】は、男性53.3%、女性56.5%となっている。

性・年代別でみると、男性では、50代、60代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ64.1%、60.9%、57.1%と高くなっている。

女性では、加齢とともに【知っている】が増加する傾向があり、60代では69.6%と最も高くなっている。

図7-7-2 性別、性・年代別／「成年後見制度」の認知状況

